

企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2017年3月調査）

2017年4月

株式会社 日通総合研究所

目 次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 調査結果の概要.....	3
2. 国内向け出荷量の動向.....	5
3. 輸送機関利用の動向.....	9
(1) 一般トラック.....	10
(2) 特別積合せトラック.....	11
(3) 宅配便.....	12
(4) 鉄道コンテナ.....	13
(5) 内航コンテナ・RORO船.....	14
(6) 国内航空.....	15
4. 輸出入貨物量の動向.....	16
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー.....	17
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー.....	19
(3) 国際航空 ー輸出ー.....	21
(4) 国際航空 ー輸入ー.....	23
5. 在庫量と営業倉庫利用の動向.....	25
(1) 在庫量 ー原材料ー.....	26
(2) 在庫量 ー製品ー.....	27
(3) 営業倉庫保管量.....	28
6. 運賃・料金の動向.....	29
(1) 一般トラック運賃.....	30
(2) 特別積合せトラック運賃.....	31
(3) 鉄道コンテナ運賃.....	32
(4) 内航コンテナ・RORO船運賃.....	33
(5) 国内航空運賃.....	34
(6) 営業倉庫保管料金.....	35
7. 物流コスト割合の動向.....	36

I. 調査の内容

目的 : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方法 : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標^(*)とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[\begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象 : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

—今回調査の回収・集計状況—

今回調査は、2017年1～3月の実績と2017年4～6月の見通しを3月初旬時点でうかがったものであり、985社からご協力をいただき、回答率は39.4%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	234	108	46.2
	繊 維 ・ 衣 服	111	32	28.8
	木 材 ・ 家 具	89	36	40.4
	パ ル プ ・ 紙	110	46	41.8
	化学・プラスチック	239	104	43.5
	窯 業 ・ 土 石	102	37	36.3
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	195	96	49.2
	金 属 製 品	128	50	39.1
	一 般 機 械	222	90	40.5
	電 気 機 械	333	106	31.8
	輸 送 用 機 械	251	96	38.2
	精 密 機 械	69	30	43.5
	そ の 他	167	56	33.5
	計	2,250	887	39.4
卸 売 業	生 産 財	124	47	37.9
	消 費 財	126	51	40.5
	計	250	98	39.2
	合 計	2,500	985	39.4

Ⅱ. 調査の結果

－ 1. 調査結果の概要－

- 2017年1～3月実績（見込み）の国内向け出荷量『荷動き指数』は△4と、前期（2017年10～12月）実績から横ばいとなった。また、2017年4～6月見通しでは△2と緩やかな改善が見込まれている。
- 業種別『荷動き指数』については、2017年1～3月実績（見込み）では、改善した業種は全15業種7業種にとどまり、プラスの業種は金属製品など5業種となった。2017年4～6月見通しでは、11業種において改善の動きがみられる。プラスの業種は7業種に拡大し、8業種がマイナスになる見込みである。
- 地域別『荷動き指数』については、2017年1～3月実績（見込み）では、5地域において改善し、プラスの地域は中国など4地域となった。2017年4～6月見通しでは、5地域において改善の動きがみられるものの、プラスの地域は北陸・信越、中国、九州・沖縄の3地域にとどまり、地域により回復の程度にバラツキがみられる。
- 輸送機関別『利用動向指数』については、2017年1～3月実績（見込み）では、全輸送機関で改善した。引き続き『利用動向指数』がプラスの輸送機関は皆無であるが、一般トラック、宅配便ではゼロ水準まで戻している。2017年4～6月見通しでは、全輸送機関で『利用動向指数』は再びマイナスとなるが、宅配便で△1、一般トラックでは△2と水面近くにとどまる見込みである。
- 輸出入貨物量『荷動き指数』については、2017年1～3月実績（見込み）では、外貨コンテナの輸出、輸入において上昇する一方、国際航空の輸出、輸入では低下した。『荷動き指数』は外貨コンテナの輸出でプラス、その他の輸送機関ではマイナスを示した。2017年4～6月見通しでは、外貨コンテナの輸出、輸入において『荷動き指数』が小幅に上昇する一方、国際航空の輸出、輸入では低下が見込まれ、引き続き外貨コンテナの輸出でプラスを示す一方、その他の輸送機関ではマイナスとなる。
- 在庫量と営業倉庫保管量の『動向指数』については、2017年1～3月実績（見込み）では、営業倉庫保管量においてゼロ水準、原材料在庫、製品在庫ではマイ

ナスとなった。2017年4～6月見通しでは、営業倉庫保管量で『動向指数』がプラス、製品在庫ではゼロ水準、原材料在庫においてはマイナスとなり、ややバラツキがみられる。

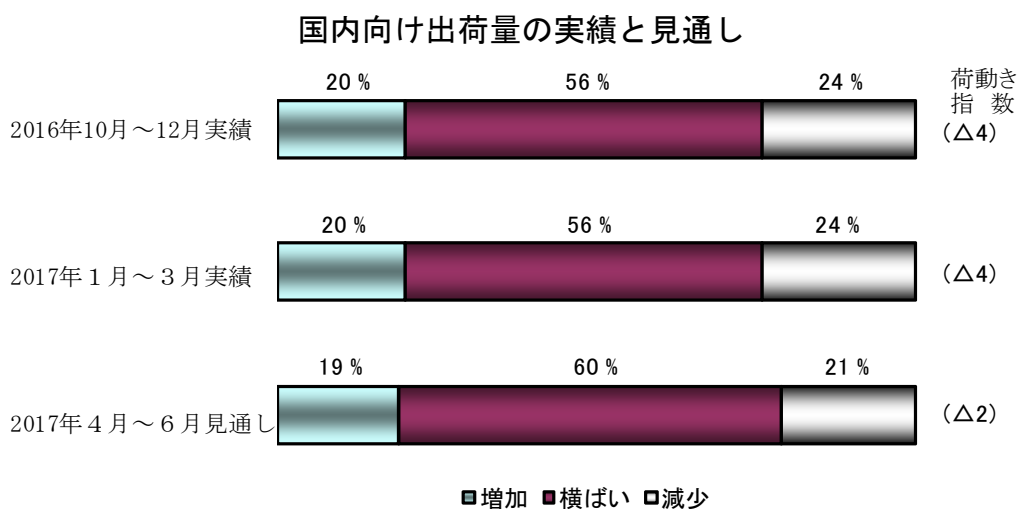
■ 運賃・料金水準『動向指数』については、2017年1～3月実績（見込み）では、特別積合せトラック、倉庫保管料において横ばいで推移する一方、その他の機関では上昇した。『動向指数』は全機関においてプラスとなった。2017年4～6月見通しでは、鉄道コンテナで低下する一方、その他の機関では上昇が見込まれる。全機関において『動向指数』がプラスを示し、なかでも一般トラック、特別積合せトラックでは、運賃水準の上昇基調が鮮明になるとみられる。

■ 売上高に対する物流コスト割合の『動向指数』については、2017年1～3月実績（見込み）では、全15業種がプラスとなった。業種全体の『動向指数』はプラス11で、前期実績から2ポイント上昇した。2017年4～6月見通しでは、木材・家具がゼロ水準に下降する一方、9業種において上昇の動きがみられる。業種全体の『動向指数』はプラス16と5ポイント上昇する見通しであり、物流コスト割合の上昇圧力は強まる。

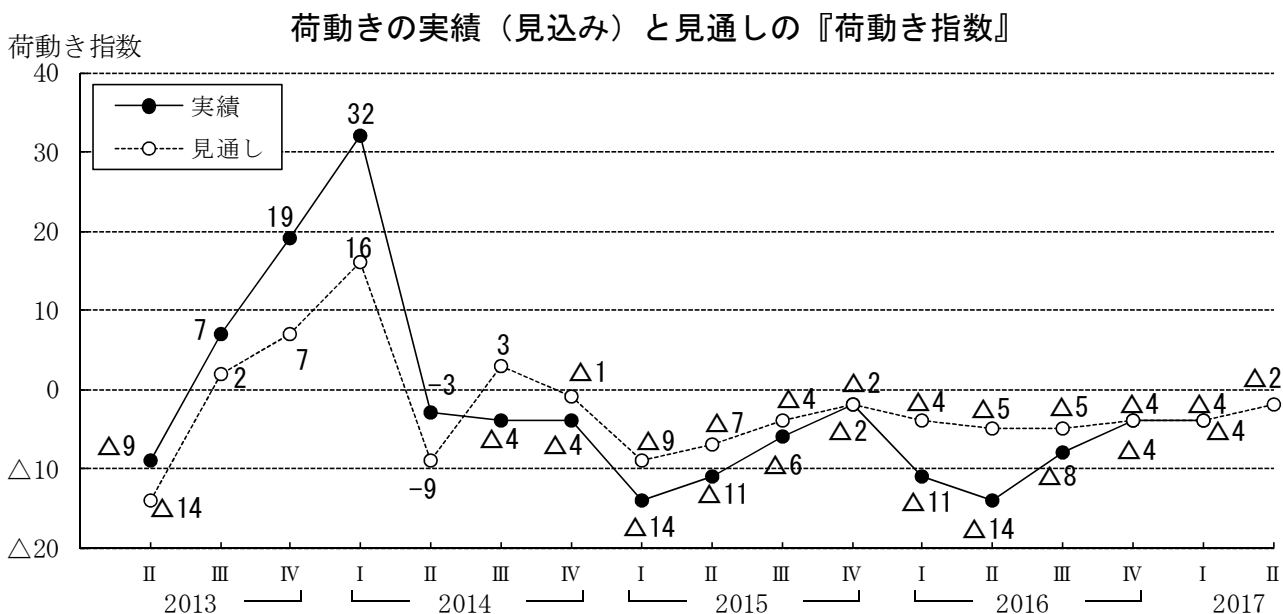
－ 2. 国内向け出荷量の動向－

■ 2017年1～3月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（2016年10～12月）実績から横ばいで推移し20%となった。また、「減少」との回答も前期から横ばいで推移し24%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は△4と横ばいになった。

■ 2017年4～6月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（2017年1～3月）実績（見込み）から弱含み横ばいで推移し19%となる一方、「減少」との回答は3ポイント低下し21%になる。この結果、『荷動き指数』は2ポイント上昇して△2と見込まれる。

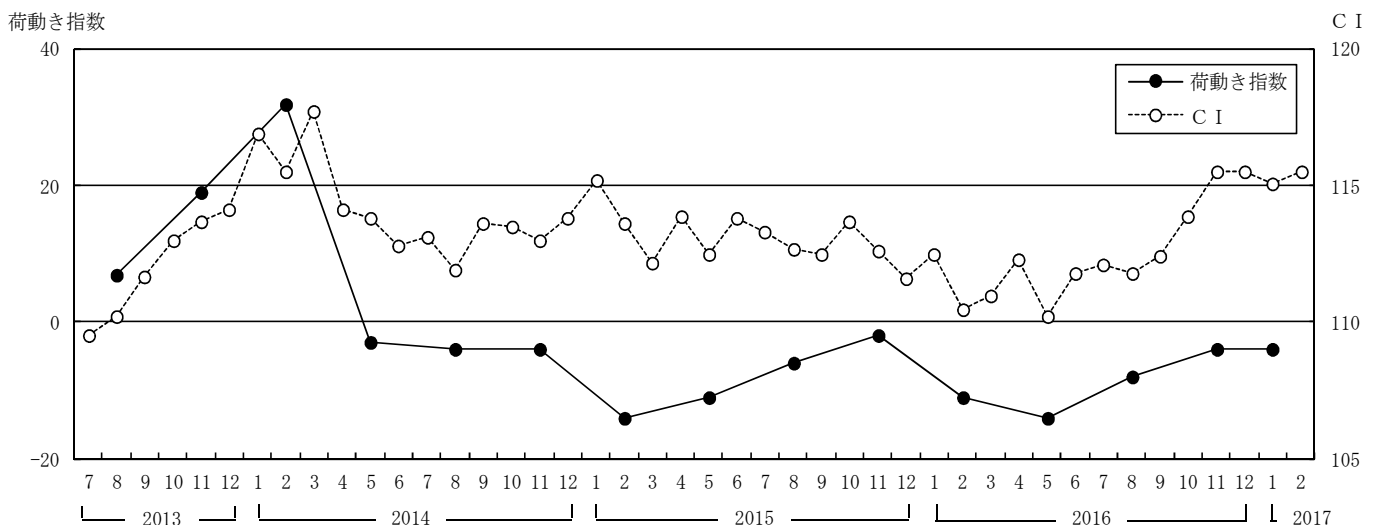


■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、駆け込み需要の反動などから2014年4～6月実績以降マイナスの推移が続いている。2015年1～3月実績では、前年同期における大幅な盛り上がりの反動もあって、△14と一段の悪化がみられたが、この時点を底に緩やかながら改善方向に動き、10～12月実績では△2まで戻した。しかし、2016年1～3月実績、4～6月実績では再び悪化に向かい、“二番底”を探る展開となった。なお、7～9月実績以降は緩やかな改善が続いており、2017年4～6月見通しでは△2とゼロ水準近傍まで戻す見込みである。



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2017年Ⅱ期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2017年Ⅰ期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

景気動向指数（C I；一致指数）と国内向け出荷量『荷動き指数』（実績）の推移



注) 1. 荷動き指数は四半期ごとの数値のため、2月、5月、8月、11月の位置にプロットしている。
 2. 景気動向指数研究会によると、第15循環における景気の山は2012年3月、景気の谷は2012年11月となっている。

■ 2017年1～3月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、**前期（2016年10～12月）実績より改善した業種は全15業種中7業種にとどまった。**プラスの業種は金属製品など5業種であり、繊維・衣服、木材・家具など10業種がマイナスとなった。

■ 2017年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、電気機械がマイナスに沈む一方、食料品・飲料、パルプ・紙、生産財卸の3業種がプラスに浮上するなど、11業種において改善の動きがみられる。この結果、**プラスの業種は7業種に拡大し、8業種がマイナスになる見込みである。**

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種	2016年10月～12月実績					2017年1月～3月実績					2017年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	102	24	52	24	0	105	21	52	27	△6	105	25	57	18	7
繊維・衣服	31	6	58	36	△30	31	13	58	29	△16	31	16	58	26	△10
木材・家具	37	16	51	33	△17	35	14	49	37	△23	35	17	57	26	△9
パルプ・紙	44	20	50	30	△10	45	16	62	22	△6	44	23	61	16	7
化学・プラスチック	108	19	63	18	1	103	20	63	17	3	103	18	72	10	8
窯業・土石	38	16	60	24	△8	37	19	49	32	△13	37	16	65	19	△3
鉄鋼・非鉄	98	27	53	20	7	93	25	51	24	1	93	23	59	18	5
金属製品	51	25	65	10	15	50	28	58	14	14	50	20	62	18	2
一般機械	87	16	54	30	△14	86	21	50	29	△8	86	19	56	25	△6
電気機械	113	20	53	27	△7	105	23	56	21	2	105	20	51	29	△9
輸送用機械	93	15	60	25	△10	93	18	60	22	△4	93	14	54	32	△18
精密機械	29	24	55	21	3	30	27	53	20	7	30	20	70	10	10
その他	55	31	45	24	7	54	19	57	24	△5	54	15	65	20	△5
計	886	20	56	24	△4	867	21	56	23	△2	866	19	60	21	△2
卸売業															
生産財	50	18	54	28	△10	47	11	66	23	△12	47	19	66	15	4
消費財	50	16	56	28	△12	50	14	58	28	△14	50	18	58	24	△6
計	100	17	55	28	△11	97	12	62	26	△14	97	18	62	20	△2
合計	986	20	56	24	△4	964	20	56	24	△4	963	19	60	21	△2

■ 2017年1～3月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、中国など4地域でプラスを示し、北陸・信越ではゼロ水準で、四国など4地域においてはマイナスとなった。前期（2016年10～12月）実績との比較では、**中国など5地域で改善の動きがみられる一方、四国など4地域では悪化した。**

■ 2017年4～6月の『荷動き指数』見通しについては、北海道など4地域で悪化する一方、北陸・信越など5地域において改善の動きがみられる。ただし、**プラスの地域は北陸・信越、中国、九州・沖縄の3地域にとどまり、地域により回復の程度にバラツキがみられる。**

国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

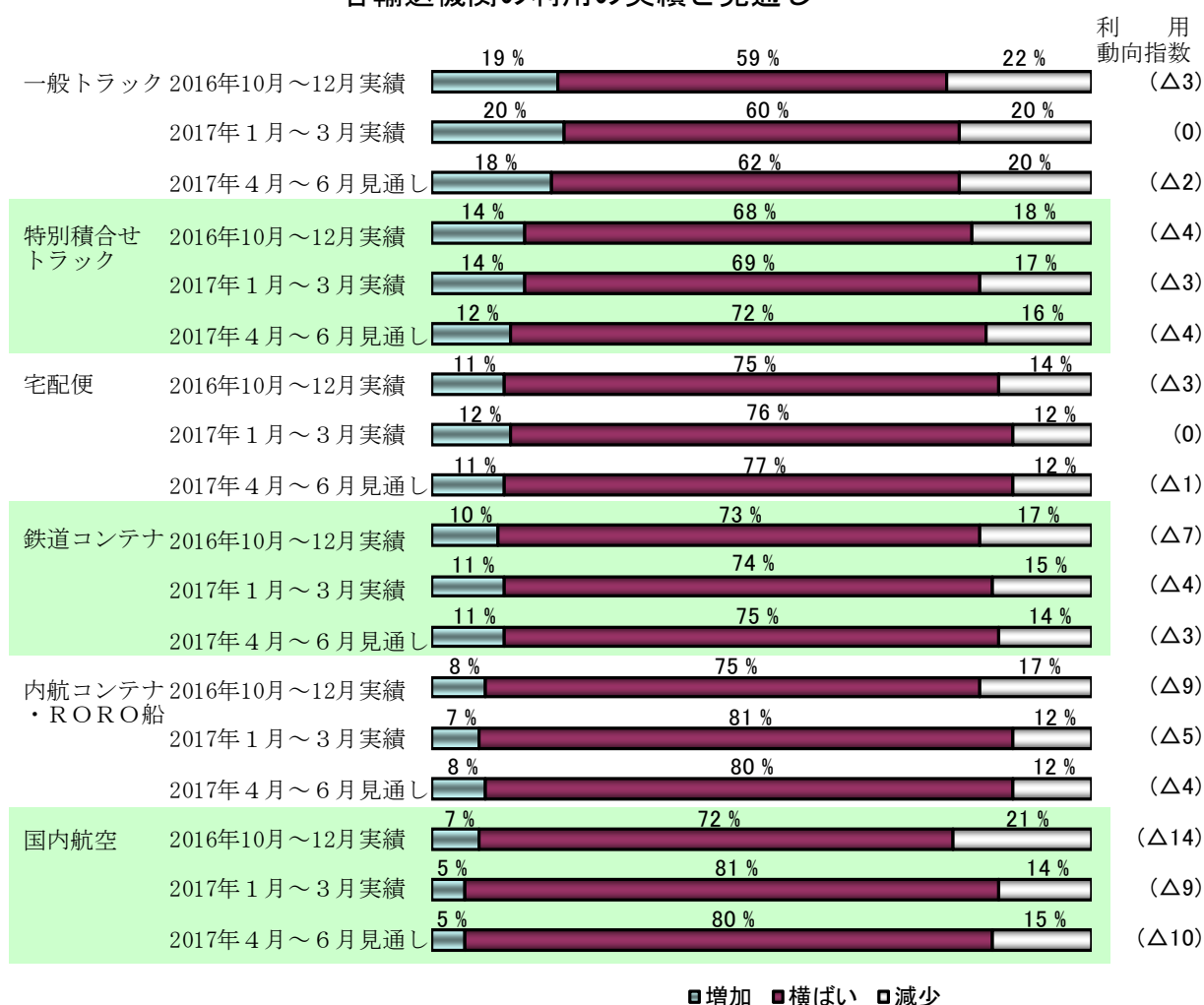
地 域	2016年10月～12月実績					2017年1月～3月実績					2017年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北海道	49	16	63	21	△ 5	49	21	61	18	3	49	18	59	23	△ 5
東 北	97	19	60	21	△ 2	92	24	54	22	2	91	20	55	25	△ 5
関 東	257	20	51	29	△ 9	252	19	55	26	△ 7	252	18	60	22	△ 4
北 陸・信 越	75	29	45	26	3	83	25	50	25	0	83	23	65	12	11
東 海	154	17	63	20	△ 3	150	22	57	21	1	150	20	55	25	△ 5
近 畿	148	19	55	26	△ 7	135	16	58	26	△ 10	135	17	61	22	△ 5
中 国	87	22	55	23	△ 1	89	26	56	18	8	89	21	64	15	6
四 国	54	17	50	33	△ 16	54	13	56	31	△ 18	54	13	63	24	△ 11
九 州・沖 縄	65	23	62	15	8	60	10	68	22	△ 12	60	23	63	14	9
合 計	986	20	56	24	△ 4	964	20	56	24	△ 4	963	19	60	21	△ 2

－ 3. 輸送機関利用の動向－

■ 2017年1～3月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』は、すべての輸送機関で前期（2016年10～12月）実績より改善した。引き続き『利用動向指数』がプラスの輸送機関は皆無であるが、一般トラックおよび宅配便ではゼロ水準まで戻している。

■ 2017年4～6月の見通しでは、鉄道コンテナおよび内航コンテナ・RORO船において改善方向に動く一方、その他の輸送機関では小幅な悪化がみられた。この結果、すべての輸送機関で『利用動向指数』は再びマイナスとなるが、宅配便で△1、一般トラックでは△2と水面近くにとどまる見込みである。

各輸送機関の利用の実績と見通し



(1) 一般トラック

■ 2017年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、金属製品など5業種がプラス、電気機械、精密機械、生産財卸の3業種がゼロ水準で、木材・家具、消費財卸など7業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（2016年10～12月）実績から3ポイント上昇してゼロ水準となった。

■ 2017年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、パルプ・紙および化学・プラスチックがプラスに浮上し、その他の製造業もゼロ水準まで戻す一方、金属製品、一般機械、電気機械の3業種がマイナスに沈み、窯業・土石もゼロ水準に下降する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△2と2ポイント低下する見通しであり、利用は再び減退方向に動くと思われる。

一般トラック利用の実績と見通し

業種	2016年10月～12月実績					2017年1月～3月実績					2017年4月～6月見通し				
	回答社数	構成			利用動向指数	回答社数	構成			利用動向指数	回答社数	構成			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	102	23	54	23	0	104	23	56	21	2	103	25	57	18	7
繊維・衣服	28	11	50	39	△28	28	14	57	29	△15	28	18	61	21	△3
木材・家具	39	18	51	31	△13	36	14	53	33	△19	36	14	64	22	△8
パルプ・紙	45	22	60	18	4	46	13	70	17	△4	45	22	65	13	9
化学・プラスチック	107	15	71	14	1	102	14	71	15	△1	102	17	75	8	9
窯業・土石	37	16	60	24	△8	36	19	64	17	2	35	14	72	14	0
鉄鋼・非鉄	96	25	59	16	9	94	27	54	19	8	92	22	62	16	6
金属製品	51	23	63	14	9	49	23	65	12	11	49	14	67	19	△5
一般機械	91	12	59	29	△17	90	25	52	23	2	90	20	56	24	△4
電気機械	102	20	57	23	△3	96	23	54	23	0	96	17	54	29	△12
輸送用機械	93	15	61	24	△9	93	17	64	19	△2	93	16	51	33	△17
精密機械	26	23	54	23	0	27	19	62	19	0	27	11	78	11	0
その他	57	30	53	17	13	56	18	62	20	△2	55	16	68	16	0
計	874	19	59	22	△3	857	20	60	20	0	851	18	62	20	△2
卸売業															
生産財	49	20	53	27	△7	45	20	60	20	0	45	18	64	18	0
消費財	48	13	60	27	△14	49	14	57	29	△15	49	14	61	25	△11
計	97	16	57	27	△11	94	17	59	24	△7	94	16	63	21	△5
合計	971	19	59	22	△3	951	20	60	20	0	945	18	62	20	△2

(2) 特別積合せトラック

■ 2017年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、金属製品など4業種がプラス、輸送用機械がゼロ水準で、木材・家具、消費財卸など10業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△3と、前期（2016年10～12月）実績から強含み横ばいで推移した。

■ 2017年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、食料品・飲料、生産財卸、消費財卸の3業種がプラスに浮上する一方、鉄鋼・非鉄、金属製品、輸送用機械の3業種がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△4と弱含み横ばいで推移する見通しであり、利用減退の動きはいくぶん強まるとみられる。

特別積合せトラック利用の実績と見通し

業種	2016年10月～12月実績					2017年1月～3月実績					2017年4月～6月見通し				
	回答社数	構成			利用動向指数	回答社数	構成			利用動向指数	回答社数	構成			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	76	18	66	16	2	72	17	62	21	△4	72	19	68	13	6
繊維・衣服	26	15	58	27	△12	25	12	68	20	△8	25	16	64	20	△4
木材・家具	26	15	54	31	△16	26	4	73	23	△19	26	8	77	15	△7
パルプ・紙	26	12	69	19	△7	26	8	73	19	△11	26	12	73	15	△3
化学・プラスチック	95	13	78	9	4	88	14	75	11	3	87	11	83	6	5
窯業・土石	27	15	63	22	△7	25	12	80	8	4	25	20	76	4	16
鉄鋼・非鉄	68	16	68	16	0	68	15	73	12	3	67	8	79	13	△5
金属製品	37	19	68	13	6	34	12	82	6	6	34	3	82	15	△12
一般機械	64	8	69	23	△15	64	20	58	22	△2	64	12	61	27	△15
電気機械	87	14	67	19	△5	81	17	63	20	△3	80	10	65	25	△15
輸送用機械	72	8	77	15	△7	67	18	64	18	0	67	10	63	27	△17
精密機械	19	5	79	16	△11	18	11	72	17	△6	18	0	89	11	△11
その他	44	20	60	20	0	43	12	70	18	△6	43	7	77	16	△9
計	667	14	68	18	△4	637	14	69	17	△3	634	11	72	17	△6
生産財	37	16	62	22	△6	36	14	67	19	△5	36	17	75	8	9
消費財	38	16	68	16	0	39	5	72	23	△18	39	15	72	13	2
計	75	16	65	19	△3	75	9	70	21	△12	75	16	73	11	5
合計	742	14	68	18	△4	712	14	69	17	△3	709	12	72	16	△4

(3) 宅配便

■ 2017年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、金属製品など5業種がプラス、精密機械およびその他の製造業がゼロ水準で、繊維・衣服、木材・家具など8業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（2016年10～12月）実績から3ポイント上昇してゼロ水準となった。

■ 2017年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、窯業・土石および精密機械がプラスに浮上し、化学・プラスチックもゼロ水準まで戻す一方、パルプ・紙および一般機械がゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△1と弱含み横ばいで推移する見通しであり、利用はわずかながら減退の方向に向かうとみられる。

宅配便利用の実績と見通し

業種	2016年10月～12月実績					2017年1月～3月実績					2017年4月～6月見通し					
	回答社数	構成			利用動向指数	回答社数	構成			利用動向指数	回答社数	構成			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	77	12	74	14	△2	82	7	81	12	△5	81	9	78	13	△4
	繊維・衣服	28	11	71	18	△7	28	11	68	21	△10	28	4	82	14	△10
	木材・家具	32	3	81	16	△13	31	3	84	13	△10	30	13	70	17	△4
	パルプ・紙	26	8	81	11	△3	26	15	81	4	11	26	8	84	8	0
	化学・プラスチック	83	7	86	7	0	80	8	82	10	△2	79	8	84	8	0
	窯業・土石	27	7	89	4	3	26	8	81	11	△3	26	11	81	8	3
	鉄鋼・非鉄	66	1	91	8	△7	61	5	84	11	△6	60	5	87	8	△3
	金属製品	47	21	70	9	12	44	23	73	4	19	44	16	77	7	9
	一般機械	84	12	74	14	△2	82	15	73	12	3	82	13	74	13	0
	電気機械	104	10	69	21	△11	97	14	68	18	△4	97	7	72	21	△14
	輸送用機械	80	10	74	16	△6	77	9	77	14	△5	77	5	73	22	△17
	精密機械	27	15	55	30	△15	30	10	80	10	0	30	13	80	7	6
	その他	46	20	60	20	0	47	13	74	13	0	46	13	74	13	0
計	727	10	76	14	△4	711	11	77	12	△1	706	9	78	13	△4	
卸売業	生産財	41	15	68	17	△2	39	16	74	10	6	39	20	72	8	12
	消費財	44	20	73	7	13	41	20	73	7	13	41	27	68	5	22
	計	85	18	70	12	6	80	17	74	9	8	80	24	70	6	18
合計	812	11	75	14	△3	791	12	76	12	0	786	11	77	12	△1	

(4) 鉄道コンテナ

■ 2017年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、食料品・飲料が唯一プラスを示し、化学・プラスチック、金属製品、その他の製造業の3業種がゼロ水準で、残り11業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は前期（2016年10～12月）実績から3ポイント上昇して△4となった。

■ 2017年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、化学・プラスチックおよび金属製品がプラスに浮上し、パルプ・紙など4業種もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△3と強含み横ばいで推移する見通しであり、利用減退の動きはいくぶん弱まるとみられる。

鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業種	2016年10月～12月実績					2017年1月～3月実績					2017年4月～6月見通し				
	回答社数	構成			利用動向指数	回答社数	構成			利用動向指数	回答社数	構成			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	52	17	69	14	3	53	19	68	13	6	53	21	64	15	6
繊維・衣服	8	13	87	0	13	11	9	73	18	△9	11	9	73	18	△9
木材・家具	19	5	63	32	△27	15	0	80	20	△20	15	7	86	7	0
パルプ・紙	33	15	58	27	△12	30	13	70	17	△4	30	17	66	17	0
化学・プラスチック	77	12	76	12	0	74	14	72	14	0	72	11	79	10	1
窯業・土石	17	0	76	24	△24	10	0	80	20	△20	10	0	80	20	△20
鉄鋼・非鉄	41	15	70	15	0	41	10	78	12	△2	41	7	78	15	△8
金属製品	22	9	82	9	0	19	16	68	16	0	18	22	61	17	5
一般機械	29	4	72	24	△20	34	6	82	12	△6	34	6	82	12	△6
電気機械	38	8	74	18	△10	33	3	88	9	△6	33	3	85	12	△9
輸送用機械	35	3	74	23	△20	36	17	64	19	△2	36	11	64	25	△14
精密機械	11	18	73	9	9	13	8	77	15	△7	13	8	77	15	△7
その他	26	11	81	8	3	26	8	84	8	0	26	8	84	8	0
計	408	10	73	17	△7	395	11	75	14	△3	392	11	75	14	△3
卸売業															
生産財	15	7	66	27	△20	12	8	75	17	△9	12	17	66	17	0
消費財	24	0	75	25	△25	21	14	62	24	△10	21	14	72	14	0
計	39	2	72	26	△24	33	12	67	21	△9	33	15	70	15	0
合計	447	10	73	17	△7	428	11	74	15	△4	425	11	75	14	△3

(5) 内航コンテナ・RORO船

■ 2017年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、パルプ・紙、化学・プラスチック、金属製品の3業種がプラス、木材・家具、輸送用機械、生産財卸の3業種がゼロ水準で、その他の製造業、消費財卸など9業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（2016年10～12月）実績から4ポイント上昇して△5となった。

■ 2017年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、輸送用機械がマイナスに沈む一方、鉄鋼・非鉄がプラスに浮上するなど6業種において上昇が見込まれる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△4と強含み横ばいで推移する見通しであり、利用減退の動きはいくぶん弱まるとみられる。

内航コンテナ・RORO船利用の実績と見通し

業 種	2016年10月～12月実績					2017年1月～3月実績					2017年4月～6月見通し				
	回答社数	構 成			利用動向指数	回答社数	構 成			利用動向指数	回答社数	構 成			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食 料 品 ・ 飲 料	33	24	67	9	15	29	3	83	14	△ 11	30	7	80	13	△ 6
織 維 ・ 衣 服	6	0	83	17	△ 17	7	0	86	14	△ 14	7	0	86	14	△ 14
木 材 ・ 家 具	10	20	70	10	10	8	13	74	13	0	8	0	100	0	0
パ ル プ ・ 紙	23	17	74	9	8	20	15	75	10	5	20	20	70	10	10
化学・プラスチック	56	5	84	11	△ 6	52	8	90	2	6	52	8	92	0	8
窯 業 ・ 土 石	11	9	55	36	△ 27	11	9	73	18	△ 9	11	9	55	36	△ 27
鉄 鋼 ・ 非 鉄	28	3	86	11	△ 8	26	8	81	11	△ 3	26	19	73	8	11
金 属 製 品	16	0	87	13	△ 13	13	8	92	0	8	13	8	92	0	8
一 般 機 械	29	10	73	17	△ 7	31	10	77	13	△ 3	31	6	81	13	△ 7
電 気 機 械	34	0	85	15	△ 15	32	6	78	16	△ 10	32	3	81	16	△ 13
輸 送 用 機 械	28	0	79	21	△ 21	28	11	78	11	0	28	4	71	25	△ 21
精 密 機 械	10	10	80	10	0	10	0	80	20	△ 20	10	0	80	20	△ 20
そ の 他	23	9	56	35	△ 26	22	0	82	18	△ 18	22	5	77	18	△ 13
計	307	8	77	15	△ 7	289	7	82	11	△ 4	290	8	80	12	△ 4
卸 売 業															
生 産 財	10	10	70	20	△ 10	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0
消 費 財	18	11	45	44	△ 33	16	6	69	25	△ 19	16	12	69	19	△ 7
計	28	11	53	36	△ 25	23	4	78	18	△ 14	23	9	78	13	△ 4
合 計	335	8	75	17	△ 9	312	7	81	12	△ 5	313	8	80	12	△ 4

(6) 国内航空

■ 2017年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、化学・プラスチック、金属製品、精密機械の3業種がプラス、繊維・衣服がゼロ水準で、残り11業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は前期（2016年10～12月）実績から5ポイント上昇して△9となった。

■ 2017年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、木材・家具がプラスに浮上し、鉄鋼・非鉄および生産財卸もゼロ水準まで戻す一方、繊維・衣服がマイナスに沈み、精密機械もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△10と弱含み横ばいで推移する見込みであり、利用減退の動きはいくぶん強まるとみられる。

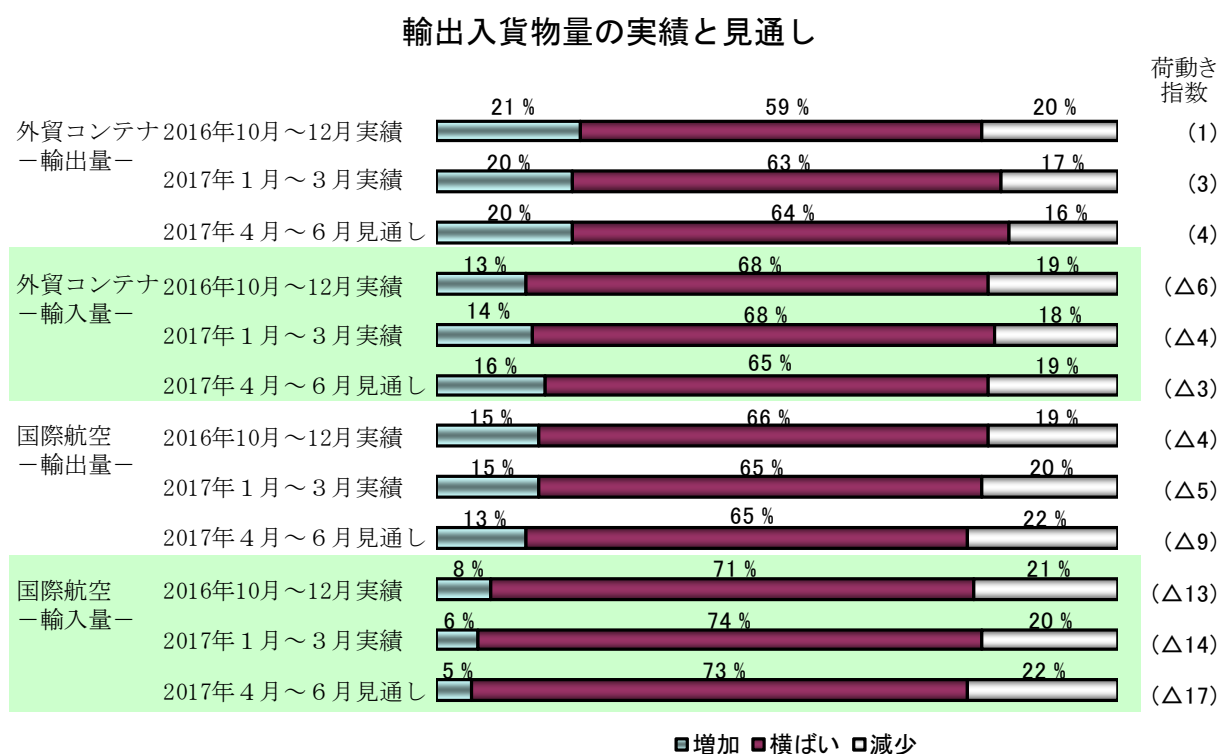
国内航空利用の実績と見通し

業 種	2016年10月～12月実績					2017年1月～3月実績					2017年4月～6月見通し					
	回答社数	構 成			利用動向指数	回答社数	構 成			利用動向指数	回答社数	構 成			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食 料 品 ・ 飲 料	21	0	71	29	△ 29	24	4	75	21	△ 17	24	0	79	21	△ 21	
繊 維 ・ 衣 服	10	0	90	10	△ 10	8	13	74	13	0	8	0	87	13	△ 13	
木 材 ・ 家 具	10	10	80	10	0	8	0	87	13	△ 13	8	25	62	13	12	
パ ル プ ・ 紙	4	0	75	25	△ 25	2	0	50	50	△ 50	2	0	50	50	△ 50	
化学・プラスチック	38	5	82	13	△ 8	38	8	89	3	5	38	8	89	3	5	
窯 業 ・ 土 石	11	0	73	27	△ 27	9	0	78	22	△ 22	9	0	78	22	△ 22	
鉄 鋼 ・ 非 鉄	21	9	86	5	4	18	0	94	6	△ 6	18	6	88	6	0	
金 属 製 品	16	6	88	6	0	13	8	92	0	8	13	8	92	0	8	
一 般 機 械	37	14	59	27	△ 13	35	3	86	11	△ 8	35	6	80	14	△ 8	
電 気 機 械	57	2	74	24	△ 22	51	8	76	16	△ 8	51	4	78	18	△ 14	
輸 送 用 機 械	29	10	59	31	△ 21	25	0	76	24	△ 24	25	0	76	24	△ 24	
精 密 機 械	16	19	62	19	0	15	20	73	7	13	15	7	86	7	0	
そ の 他	21	5	76	19	△ 14	21	0	71	29	△ 29	21	0	71	29	△ 29	
計	291	7	73	20	△ 13	267	5	81	14	△ 9	267	4	81	15	△ 11	
卸 売 業	生 産 財	14	22	64	14	8	15	7	80	13	△ 6	15	13	74	13	0
	消 費 財	22	0	64	36	△ 36	15	0	80	20	△ 20	15	0	80	20	△ 20
	計	36	8	64	28	△ 20	30	3	80	17	△ 14	30	7	77	16	△ 9
合 計		327	7	72	21	△ 14	297	5	81	14	△ 9	297	5	80	15	△ 10

－ 4. 輸出入貨物量の動向－

■ 2017年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、外貨コンテナの輸出および輸入において前期（2016年10～12月）実績より上昇する一方、国際航空の輸出および輸入では低下した。『荷動き指数』は、外貨コンテナの輸出でプラスとなったが、その他の輸送機関では引き続きマイナスを示した。

■ 2017年4～6月の見通しでは、外貨コンテナの輸出および輸入において『荷動き指数』が小幅に上昇する一方、国際航空の輸出および輸入では低下が見込まれる。この結果、引き続き外貨コンテナの輸出で『荷動き指数』がプラスを示す一方、その他の輸送機関ではマイナスとなり、輸送機関によりバラツキがみられる。



(1) 外貿コンテナ ー輸出ー

■ 2017年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、食料品・飲料、パルプ・紙など8業種がプラス、繊維・衣服など6業種がゼロ水準で、輸送用機械が唯一マイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は前期（2016年10～12月）実績から2ポイント上昇してプラス3となった。

■ 2017年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、その他の製造業がマイナスに沈む一方、窯業・土石、電気機械、精密機械の3業種がプラスに浮上した。この結果、業種全体の『利用動向指数』はプラス4と強含み横ばいで推移する見通しであり、荷動きは緩やかな拡大が続くとみられる。

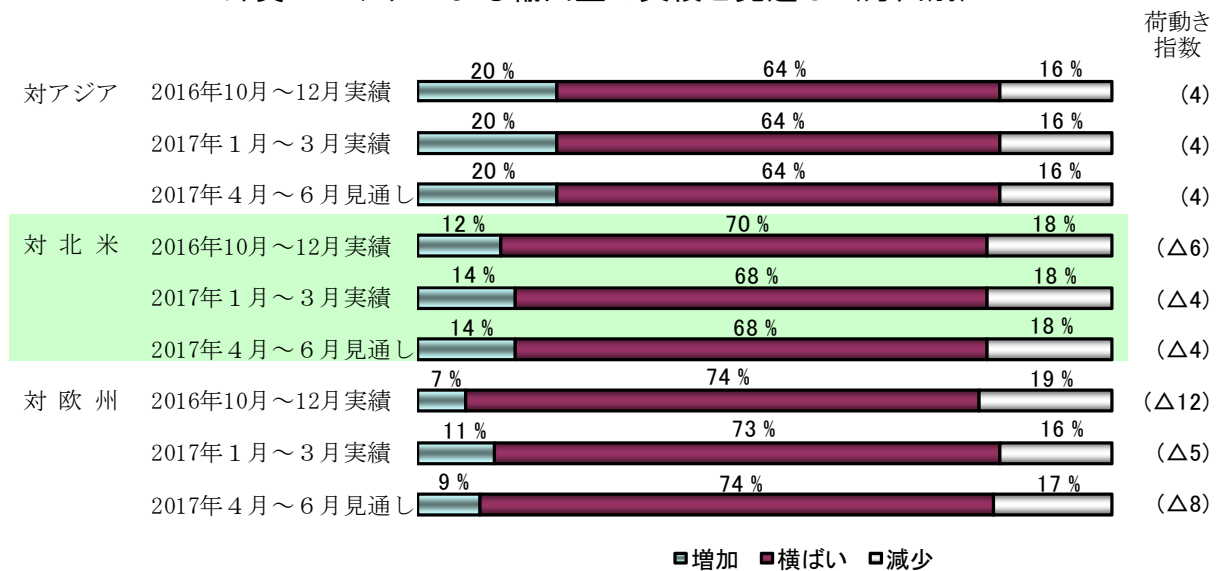
外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業 種	2016年10月～12月実績					2017年1月～3月実績					2017年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	22	55	45	0	55	25	36	48	16	20	25	40	44	16	24
繊維・衣服	12	17	58	25	△ 8	15	20	60	20	0	15	20	60	20	0
木材・家具	9	11	56	33	△ 22	8	13	74	13	0	8	13	74	13	0
パルプ・紙	16	31	50	19	12	16	31	63	6	25	16	38	56	6	32
化学・プラスチック	55	22	62	16	6	56	18	66	16	2	56	16	70	14	2
製 窯業・土石	21	14	67	19	△ 5	23	22	56	22	0	23	30	57	13	17
鉄鋼・非鉄	48	23	69	8	15	43	12	79	9	3	43	11	84	5	6
金 属 製 品	14	22	64	14	8	15	20	73	7	13	15	20	73	7	13
一 般 機 械	64	17	50	33	△ 16	60	27	51	22	5	60	25	53	22	3
電 気 機 械	62	19	63	18	1	50	18	64	18	0	50	18	66	16	2
輸 送 用 機 械	58	17	59	24	△ 7	49	14	65	21	△ 7	49	14	51	35	△ 21
精 密 機 械	15	20	53	27	△ 7	14	21	58	21	0	14	22	64	14	8
そ の 他	28	11	71	18	△ 7	23	26	57	17	9	23	13	70	17	△ 4
計	424	21	60	19	2	397	21	62	17	4	397	20	63	17	3
卸 生 産 財	9	45	33	22	23	10	20	70	10	10	10	20	80	0	20
消 費 財	11	0	64	36	△ 36	9	11	78	11	0	9	11	78	11	0
計	20	20	50	30	△ 10	19	16	74	10	6	19	16	79	5	11
合 計	444	21	59	20	1	416	20	63	17	3	416	20	64	16	4

■ 2017年1～3月の方面別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、対北米および対欧州において前期（2016年10～12月）実績より上昇する一方、対アジアでは横ばいとなった。『荷動き指数』は対アジアでプラス、対北米および対欧州ではマイナスを示している。

■ 2017年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、対アジアおよび対北米において横ばいで推移する一方、対欧州では3ポイント低下する見込みである。総じてみると、荷動きは改善方向に動いているものの、方面によりバラツキがある。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し（方面別）



(2) 外貿コンテナ - 輸入 -

■ 2017年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、食料品・飲料、化学・プラスチックなど5業種がプラス、金属製品および消費財卸がゼロ水準で、一般機械、生産財卸など8業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は前期（2016年10～12月）実績から2ポイント上昇して△4となった。

■ 2017年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、窯業・土石、生産財卸、消費財卸の3業種がプラスに浮上する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△3と強含み横ばいで推移する見通しであり、荷動き減退の動きはいくぶん弱まるとみられる。

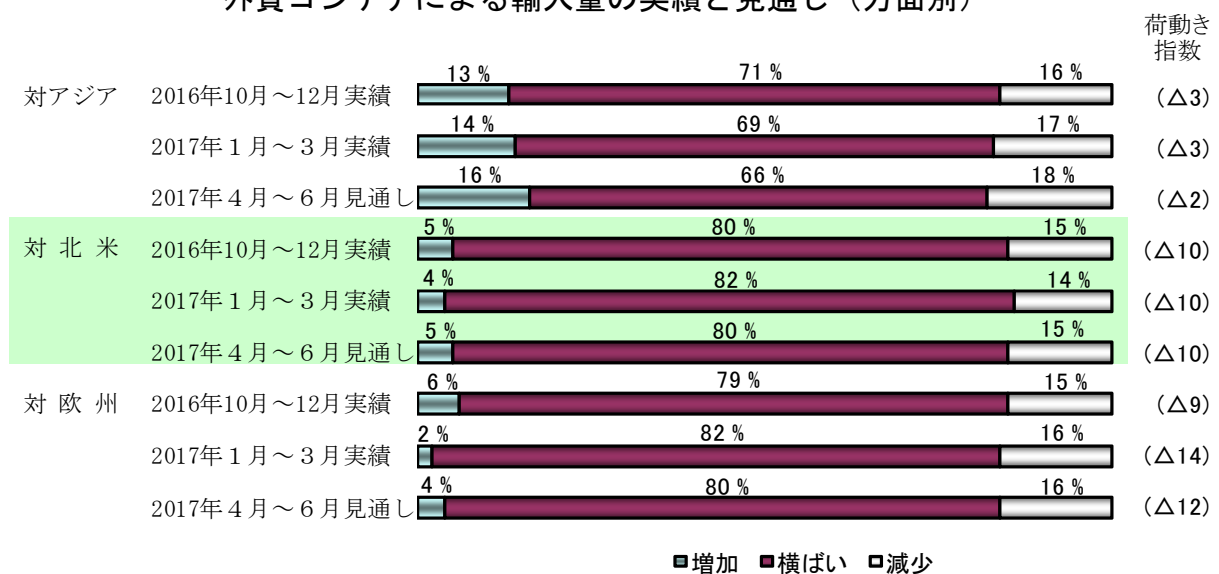
外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業種	2016年10月～12月実績					2017年1月～3月実績					2017年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	17	35	53	12	23	20	35	50	15	20	20	35	50	15	20
繊維・衣服	12	17	58	25	△8	13	15	62	23	△8	13	15	62	23	△8
木材・家具	15	20	53	27	△7	13	23	62	15	8	13	23	69	8	15
パルプ・紙	8	0	75	25	△25	7	14	57	29	△15	7	14	57	29	△15
化学・プラスチック	50	12	76	12	0	52	25	65	10	15	52	25	63	12	13
窯業・土石	20	5	85	10	△5	20	10	70	20	△10	20	20	65	15	5
鉄鋼・非鉄	33	18	73	9	9	31	16	74	10	6	31	19	78	3	16
金属製品	13	15	77	8	7	13	8	84	8	0	14	14	72	14	0
一般機械	56	9	62	29	△20	53	11	59	30	△19	53	9	68	23	△14
電気機械	57	9	77	14	△5	51	6	76	18	△12	51	8	74	18	△10
輸送用機械	62	10	69	21	△11	54	7	78	15	△8	54	7	56	37	△30
精密機械	15	7	60	33	△26	14	29	50	21	8	14	36	50	14	22
その他	27	7	74	19	△12	23	9	69	22	△13	23	9	69	22	△13
計	385	12	70	18	△6	364	14	68	18	△4	365	16	65	19	△3
卸売業															
生産財	12	42	33	25	17	12	8	67	25	△17	12	25	67	8	17
消費財	14	14	57	29	△15	14	14	72	14	0	14	29	50	21	8
計	26	27	46	27	0	26	12	69	19	△7	26	27	58	15	12
合計	411	13	68	19	△6	390	14	68	18	△4	391	16	65	19	△3

■ 2017年1～3月の方面別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、対北アジアおよび対北米において前期(2016年10～12月)実績から横ばいで推移する一方、対欧州では低下となった。『荷動き指数』はすべての方面でマイナスを示している。

■ 2017年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、対アジアおよび対北米において小幅な上昇がみられる一方、対北米では横ばいで推移する見込みである。対北米および対欧州では2ケタのマイナスとなる見通しであり、荷動き減退の動きが続くとみられる。

外貨コンテナによる輸入量の実績と見通し（方面別）



(3) 国際航空 ー輸出ー

■ 2017年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、電気機械が唯一プラスを示し、食料品・飲料など8業種がゼロ水準で、繊維・衣服、窯業・土石など6業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△5で、前期（2016年10～12月）実績から弱含み横ばいで推移した。

■ 2017年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、木材・家具および金属製品がプラスに浮上する一方、電気機械、その他の製造業、生産財卸の3業種がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△9と4ポイント低下する見通しであり、荷動き減退の動きは強まるとみられる。

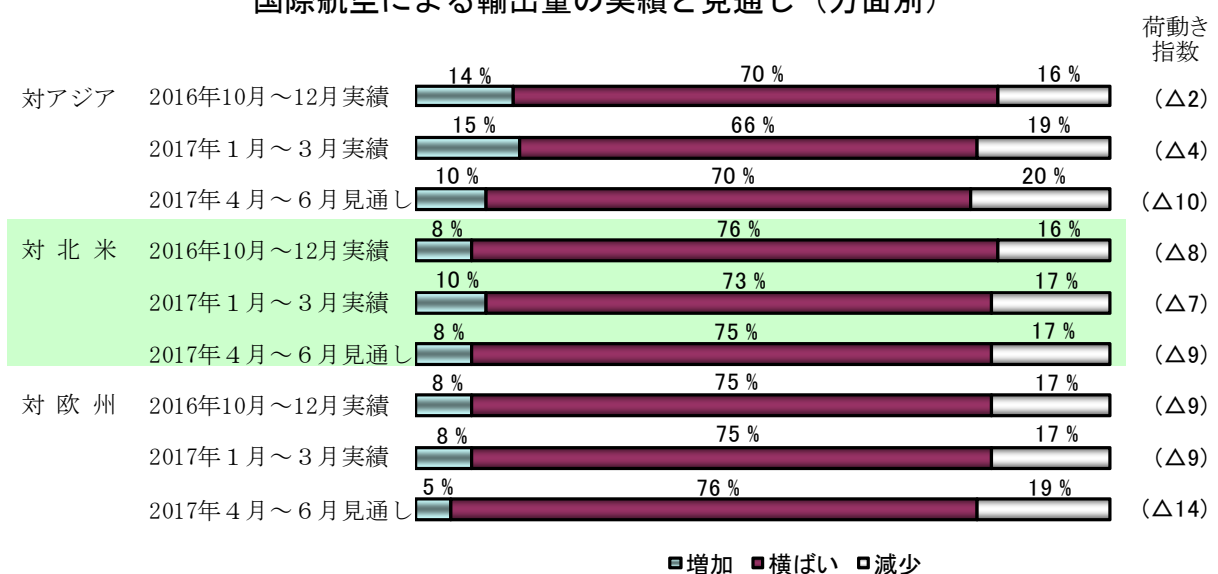
国際航空による輸出量の実績と見通し

業種	2016年10月～12月実績					2017年1月～3月実績					2017年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	5	20	80	0	20	4	0	100	0	0	4	0	100	0	0
繊維・衣服	10	10	60	30	△20	10	10	50	40	△30	10	10	50	40	△30
木材・家具	4	0	100	0	0	4	0	100	0	0	4	25	75	0	25
パルプ・紙	1	0	100	0	0	1	0	100	0	0	1	0	100	0	0
化学・プラスチック	41	7	83	10	△3	35	11	72	17	△6	35	12	74	14	△2
窯業・土石	11	18	55	27	△9	10	20	50	30	△10	10	10	60	30	△20
鉄鋼・非鉄	28	18	71	11	7	27	11	78	11	0	26	12	76	12	0
金属製品	11	0	91	9	△9	10	0	90	10	△10	10	10	80	10	0
一般機械	54	17	52	31	△14	51	22	53	25	△3	51	16	55	29	△13
電気機械	73	15	69	16	△1	64	20	61	19	1	64	19	55	26	△7
輸送用機械	38	16	63	21	△5	32	16	53	31	△15	32	6	56	38	△32
精密機械	18	22	50	28	△6	20	20	60	20	0	20	15	70	15	0
その他	17	18	76	6	12	12	17	66	17	0	12	8	75	17	△9
計	311	15	67	18	△3	280	16	63	21	△5	279	13	64	23	△10
生産財	9	44	45	11	33	10	10	80	10	0	10	0	90	10	△10
消費財	6	0	33	67	△67	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0
計	15	27	40	33	△6	17	6	88	6	0	17	0	94	6	△6
合計	326	15	66	19	△4	297	15	65	20	△5	296	13	65	22	△9

■ 2017年1～3月の方面別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、対北米で前期（2016年10～12月）実績より上昇する一方、対欧州では横ばい、対アジアにおいては低下となった。『荷動き指数』はすべての方面でマイナスを示している。

■ 2017年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、すべての方面において低下する見込みである。とくに対アジアおよび対欧州では2ケタのマイナスとなる見通しであり、荷動き減退の動きは強まるとみられる。

国際航空による輸出货量の実績と見通し（方面別）



(4) 国際航空 — 輸入 —

■ 2017年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、プラスの業種は皆無で、食料品・飲料など5業種がゼロ水準にとどまり、一般機械、輸送用機械など10業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△14で、前期（2016年10～12月）実績から弱含み横ばいで推移した。

■ 2017年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、生産財卸がプラスに浮上する一方、輸送用機械など4業種においてマイナス幅が拡大する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△17と3ポイント低下する見通しであり、荷動き減退の動きは強まるとみられる。

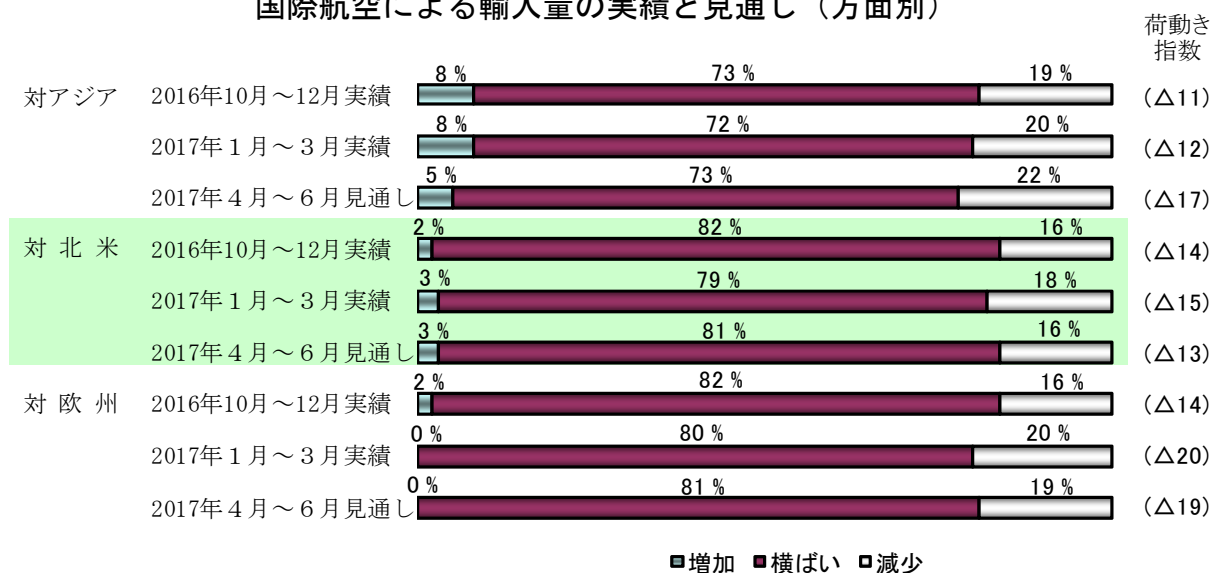
国際航空による輸入量の実績と見通し

業 種	2016年10月～12月実績					2017年1月～3月実績					2017年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	4	0	75	25	△ 25	2	0	100	0	0	2	0	100	0	0
繊維・衣服	7	14	57	29	△ 15	8	0	62	38	△ 38	8	0	62	38	△ 38
木材・家具	3	0	100	0	0	4	0	100	0	0	4	0	100	0	0
パルプ・紙	1	0	100	0	0	1	0	100	0	0	1	0	100	0	0
化学・プラスチック	31	0	90	10	△ 10	32	3	81	16	△ 13	32	3	81	16	△ 13
窯業・土石	9	0	67	33	△ 33	9	11	56	33	△ 22	9	0	67	33	△ 33
鉄鋼・非鉄	25	4	88	8	△ 4	20	5	80	15	△ 10	21	0	90	10	△ 10
金属製品	6	0	100	0	0	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0
一般機械	45	4	69	27	△ 23	42	5	67	28	△ 23	42	7	64	29	△ 22
電気機械	58	9	76	15	△ 6	51	10	76	14	△ 4	51	8	71	21	△ 13
輸送用機械	35	8	66	26	△ 18	32	13	59	28	△ 15	32	6	56	38	△ 32
精密機械	20	20	45	35	△ 15	18	17	55	28	△ 11	18	11	61	28	△ 17
その他	15	13	67	20	△ 7	11	0	82	18	△ 18	11	0	82	18	△ 18
計	259	7	73	20	△ 13	239	7	72	21	△ 14	240	5	72	23	△ 18
卸売業															
生産財	11	46	36	18	28	10	0	100	0	0	10	10	90	0	10
消費財	8	0	50	50	△ 50	9	0	78	22	△ 22	9	0	78	22	△ 22
計	19	26	42	32	△ 6	19	0	89	11	△ 11	19	5	84	11	△ 6
合計	278	8	71	21	△ 13	258	6	74	20	△ 14	259	5	73	22	△ 17

■ 2017年1～3月の方面別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、すべての方面において前期（2016年10～12月）実績より低下した。またすべての方面で『荷動き指数』は2ケタのマイナスを示している。

■ 2017年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、対北米および対欧州において小幅な上昇がみられる一方、対アジアでは低下する見込みである。引き続きすべての方面で『荷動き指数』は2ケタのマイナスを示し、荷動き減退の動きが続くとみられる。

国際航空による輸入量の実績と見通し（方面別）

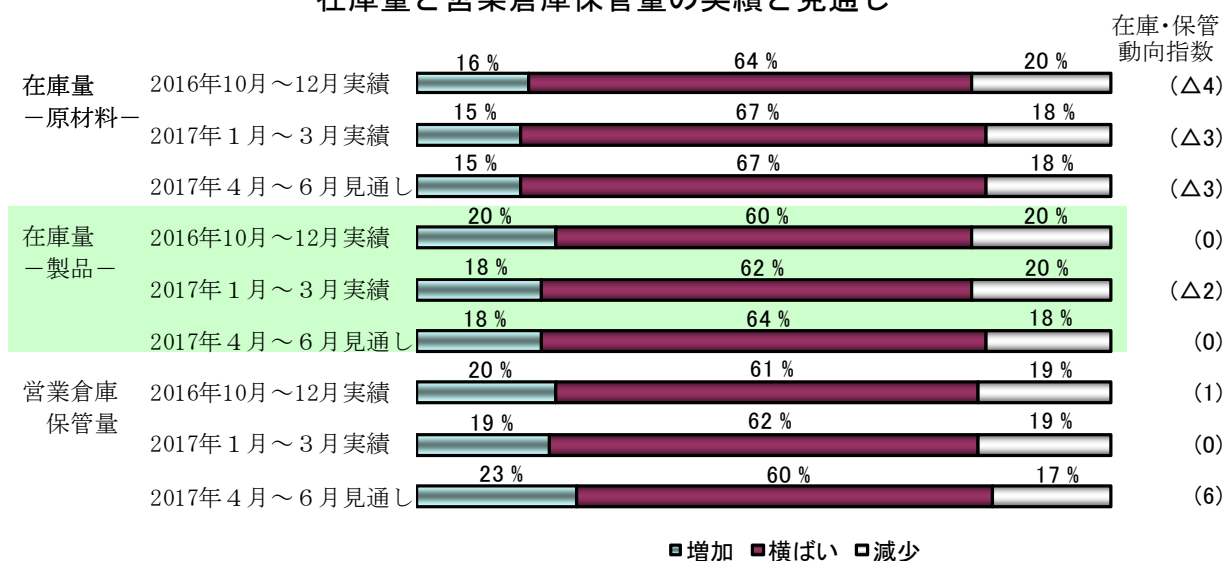


－ 5. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

■ 2017年1～3月実績（見込み）の在庫量と営業倉庫保管量の動向をみると、原材料在庫で『動向指数』が前期（2016年10～12月）実績より上昇する一方、製品在庫および営業倉庫保管量では低下した。この結果、**営業倉庫保管量において『動向指数』がゼロ水準、原材料在庫および製品在庫ではマイナスとなった。**

■ 2017年4～6月の見通しについては、製品在庫および営業倉庫保管量で『動向指数』が上昇する一方、原材料在庫では横ばいで推移する見込みである。この結果、**営業倉庫保管量で『動向指数』がプラス、製品在庫ではゼロ水準、原材料在庫においてはマイナスとなり、ややバラツキがみられる。**

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 2017年1～3月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、化学・プラスチック、生産財卸、消費財卸の3業種がプラス、金属製品がゼロ水準で、残り11業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△3で、前期（2016年10～12月）実績から強含み横ばいで推移した。

■ 2017年4～6月の『在庫動向指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄、金属製品、精密機械の3業種がプラスに浮上し、木材・家具もゼロ水準まで戻す一方、電気機械、輸送用機械など7業種において低下の動きがみられる。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は△3と横ばいで推移する見通しであり、原材料在庫の縮小が続くとみられる。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2016年10月～12月実績					2017年1月～3月実績					2017年4月～6月見通し				
	回答社数	構成			在庫動向指数	回答社数	構成			在庫動向指数	回答社数	構成			在庫動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	91	24	59	17	7	96	10	66	24	△14	95	13	64	23	△10
繊維・衣服	31	19	52	29	△10	29	10	69	21	△11	29	7	72	21	△14
木材・家具	39	26	61	13	13	34	12	53	35	△23	34	18	64	18	0
パルプ・紙	40	5	77	18	△13	42	7	79	14	△7	42	9	74	17	△8
化学・プラスチック	102	15	70	15	0	93	20	66	14	6	93	19	67	14	5
窯業・土石	35	11	66	23	△12	33	12	73	15	△3	33	9	79	12	△3
鉄鋼・非鉄	92	12	65	23	△11	91	16	64	20	△4	91	19	65	16	3
金属製品	44	18	73	9	9	45	11	78	11	0	45	15	78	7	8
一般機械	79	11	66	23	△12	81	18	56	26	△8	81	16	63	21	△5
電気機械	96	7	63	30	△23	94	14	68	18	△4	94	13	65	22	△9
輸送用機械	88	16	67	17	△1	86	10	77	13	△3	86	11	67	22	△11
精密機械	25	16	48	36	△20	26	27	42	31	△4	26	27	54	19	8
その他	52	19	66	15	4	50	14	68	18	△4	50	8	68	24	△16
計	814	15	65	20	△5	800	14	67	19	△5	799	14	67	19	△5
卸売業															
生産財	30	30	57	13	17	29	21	69	10	11	29	31	66	3	28
消費財	29	24	55	21	3	30	20	70	10	10	30	23	63	14	9
計	59	27	56	17	10	59	20	70	10	10	59	27	64	9	18
合計	873	16	64	20	△4	859	15	67	18	△3	858	15	67	18	△3

(2) 在庫量 ー製品ー

■ 2017年1～3月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、金属製品、消費財卸など6業種がプラス、輸送用機械がゼロ水準で、繊維・衣服、木材・家具など8業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は、前期（2016年10～12月）実績から2ポイント低下して△2となった。

■ 2017年4～6月の『在庫動向指数』見通しでは、輸送用機械がマイナスに沈む一方、一般機械および精密機械がプラスに浮上し、食料品・飲料もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『在庫動向指数』はゼロ水準と2ポイント上昇する見通しであり、製品在庫は横ばいになるとみられる。

在庫量（製品）の実績と見通し

業 種	2016年10月～12月実績					2017年1月～3月実績					2017年4月～6月見通し				
	回答社数	構 成			在庫動向指数	回答社数	構 成			在庫動向指数	回答社数	構 成			在庫動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	98	26	59	15	11	100	21	56	23	△2	99	18	64	18	0
繊維・衣服	31	13	58	29	△16	29	10	62	28	△18	29	10	66	24	△14
木材・家具	37	27	54	19	8	36	17	47	36	△19	36	17	58	25	△8
パルプ・紙	42	31	52	17	14	44	16	75	9	7	44	23	68	9	14
化学・プラスチック	108	22	59	19	3	99	21	59	20	1	99	23	59	18	5
製 窯業・土石	36	20	58	22	△2	35	17	69	14	3	35	17	77	6	11
鉄鋼・非鉄	97	17	59	24	△7	94	14	65	21	△7	94	15	69	16	△1
業 金属製品	45	24	58	18	6	45	27	66	7	20	45	18	75	7	11
一般機械	83	12	64	24	△12	83	18	59	23	△5	83	21	61	18	3
電気機械	101	12	65	23	△11	95	17	63	20	△3	95	16	57	27	△11
輸送用機械	90	13	74	13	0	87	13	74	13	0	87	10	68	22	△12
精密機械	27	33	48	19	14	28	25	46	29	△4	28	25	57	18	7
その他	54	17	61	22	△5	54	20	58	22	△2	54	15	68	17	△2
計	849	19	61	20	△1	829	18	62	20	△2	828	17	65	18	△1
卸 生産財	47	28	51	21	7	38	24	55	21	3	38	29	66	5	24
消費財	41	24	56	20	4	48	19	71	10	9	48	21	62	17	4
計	88	26	53	21	5	86	21	64	15	6	86	24	64	12	12
合計	937	20	60	20	0	915	18	62	20	△2	914	18	64	18	0

(3) 営業倉庫保管量

■ 2017年1～3月実績（見込み）の『保管動向指数』は、精密機械、生産財卸など7業種がプラス、輸送用機械がゼロ水準で、木材・家具、一般機械など7業種がマイナスとなった。業種全体の『保管動向指数』はゼロ水準で、前期（2016年10～12月）実績から弱含み横ばいで推移した。

■ 2017年4～6月の『保管動向指数』見通しでは、化学・プラスチック、鉄鋼・非鉄、一般機械がプラスに浮上する。この結果、業種全体の『保管動向指数』はプラス6と6ポイント上昇する見通しであり、営業倉庫保管量には増加の動きが見込まれる。

営業倉庫保管量の実績と見通し

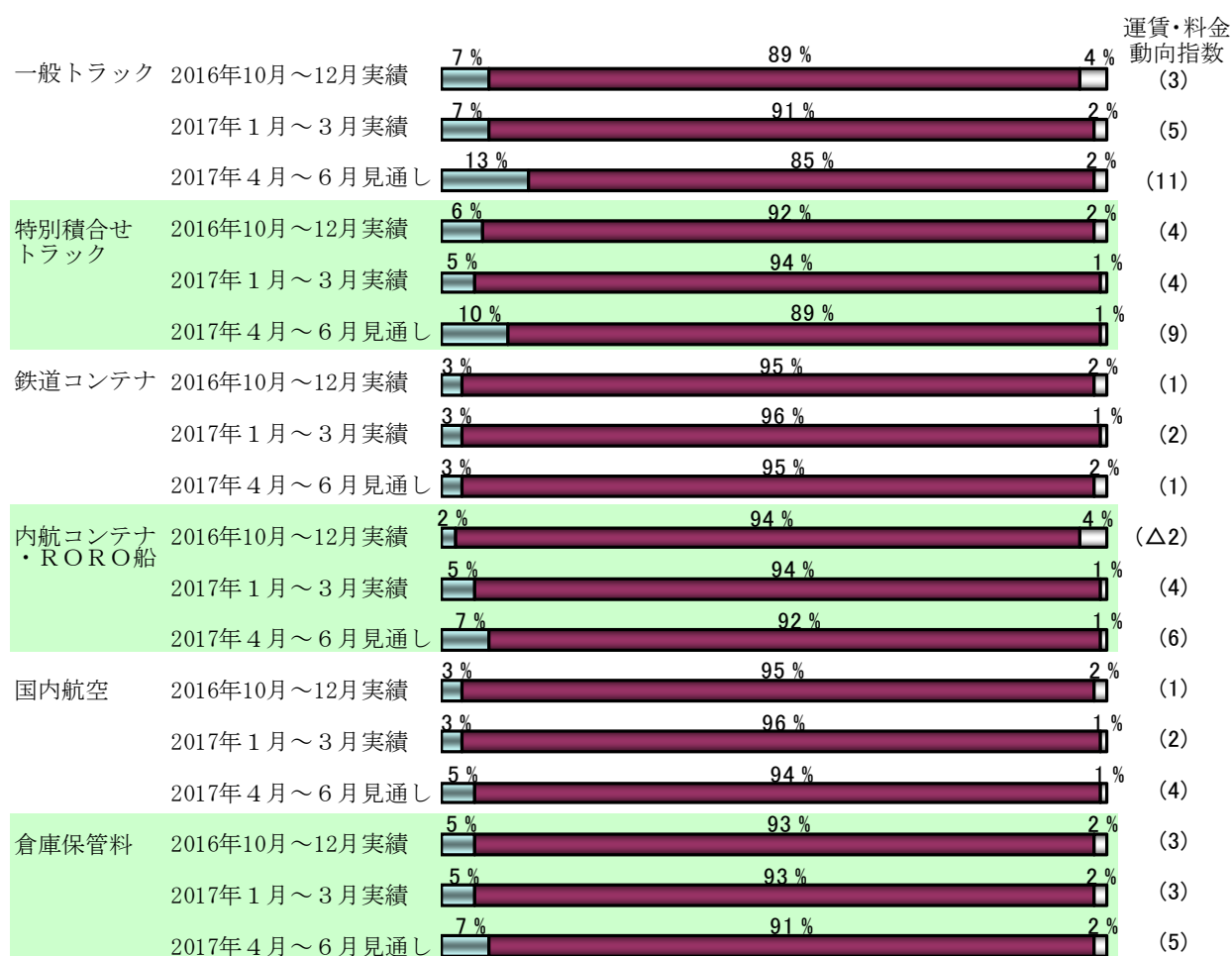
業 種	2016年10月～12月実績					2017年1月～3月実績					2017年4月～6月見通し				
	回答社数	構 成			保管動向指数	回答社数	構 成			保管動向指数	回答社数	構 成			保管動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食 料 品 ・ 飲 料	75	32	55	13	19	85	27	53	20	7	85	33	51	16	17
繊 維 ・ 衣 服	17	18	47	35	△ 17	18	17	78	5	12	18	22	67	11	11
木 材 ・ 家 具	30	30	60	10	20	28	7	64	29	△ 22	27	11	74	15	△ 4
パ ル プ ・ 紙	39	18	62	20	△ 2	39	13	67	20	△ 7	39	15	59	26	△ 11
化学・プラスチック	92	16	66	18	△ 2	86	19	59	22	△ 3	86	23	61	16	7
製 窯 業 ・ 土 石	24	13	62	25	△ 12	21	29	62	9	20	21	24	62	14	10
鉄 鋼 ・ 非 鉄	72	20	65	15	5	68	16	62	22	△ 6	68	17	68	15	2
金 属 製 品	27	22	56	22	0	29	21	69	10	11	29	17	73	10	7
一 般 機 械	56	18	62	20	△ 2	59	15	61	24	△ 9	59	22	61	17	5
電 気 機 械	70	10	64	26	△ 16	66	18	61	21	△ 3	65	20	52	28	△ 8
輸 送 用 機 械	69	17	66	17	0	67	13	74	13	0	67	19	62	19	0
精 密 機 械	19	26	53	21	5	17	41	47	12	29	17	41	47	12	29
そ の 他	43	12	76	12	0	41	10	71	19	△ 9	41	12	71	17	△ 5
計	633	19	63	18	1	624	18	63	19	△ 1	622	21	61	18	3
卸 生 産 財	40	33	49	18	15	36	33	56	11	22	36	33	59	8	25
卸 消 費 財	40	20	52	28	△ 8	41	24	59	17	7	41	34	54	12	22
計	80	26	51	23	3	77	29	57	14	15	77	34	56	10	24
合 計	713	20	61	19	1	701	19	62	19	0	699	23	60	17	6

－ 6. 運賃・料金の動向－

■ 2017年1～3月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、特別積合せトラックおよび倉庫保管料で前期（2016年10～12月）実績から横ばいで推移する一方、その他の機関においては上昇した。『動向指数』はすべての機関においてプラスとなった。

■ 2017年4～6月の『動向指数』見通しについては、鉄道コンテナで低下する一方、その他の機関では上昇が見込まれる。この結果、すべての機関において『動向指数』がプラスを示し、なかでも一般トラックおよび特別積合せトラックでは、運賃水準の上昇基調が鮮明になるとみられる。

運賃・料金の実績と見通し



□値上り ■変わらず □値下り

(1) 一般トラック運賃

■ 2017年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、鉄鋼・非鉄および輸送用機械がマイナス、木材・家具および精密機械がゼロ水準で、残り11業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は、前期（2016年10～12月）実績から2ポイント上昇してプラス5となった。

■ 2017年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄など4業種がプラスに浮上し、全業種がプラスとなる見込みである。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス11と6ポイント上昇する見通しであり、運賃水準の上昇基調が鮮明になるとみられる。

一般トラック運賃の実績と見通し

業種	2016年10月～12月実績					2017年1月～3月実績					2017年4月～6月見通し				
	回答社数	構成			運賃動向指数	回答社数	構成			運賃動向指数	回答社数	構成			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	100	16	83	1	15	104	17	83	0	17	102	25	74	1	24
繊維・衣服	28	11	89	0	11	28	7	93	0	7	26	19	81	0	19
木材・家具	39	3	94	3	0	33	3	94	3	0	33	21	76	3	18
パルプ・紙	45	2	93	5	△3	46	7	93	0	7	46	11	89	0	11
化学・プラスチック	107	3	92	5	△2	102	5	92	3	2	102	10	87	3	7
製 窯業・土石	37	3	94	3	0	35	11	89	0	11	35	20	80	0	20
造 鉄鋼・非鉄	96	9	80	11	△2	93	3	90	7	△4	93	10	85	5	5
業 金属製品	50	10	90	0	10	47	6	94	0	6	47	9	87	4	5
一般機械	89	5	94	1	4	88	3	96	1	2	88	6	93	1	5
電気機械	100	6	93	1	5	95	7	91	2	5	94	9	90	1	8
輸送用機械	91	4	87	9	△5	89	3	92	5	△2	88	8	89	3	5
精密機械	26	4	85	11	△7	28	4	92	4	0	28	11	86	3	8
その他	56	7	93	0	7	55	7	93	0	7	55	13	85	2	11
計	864	7	89	4	3	843	7	91	2	5	837	12	86	2	10
卸 生産財	48	10	90	0	10	42	12	88	0	12	41	20	80	0	20
業 消費財	49	12	88	0	12	47	11	87	2	9	47	17	83	0	17
計	97	11	89	0	11	89	11	88	1	10	88	18	82	0	18
合計	961	7	89	4	3	932	7	91	2	5	925	13	85	2	11

(2) 特別積合せトラック運賃

■ 2017年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、鉄鋼・非鉄および精密機械がマイナス、木材・家具およびパルプ・紙がゼロ水準で、残り11業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス4で、前期（2016年10～12月）実績から横ばいで推移した。

■ 2017年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、木材・家具、パルプ・紙、鉄鋼・非鉄の3業種がプラスに浮上する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス9と5ポイント上昇する見通しであり、運賃水準の上昇基調が鮮明になるとみられる。

特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業種	2016年10月～12月実績					2017年1月～3月実績					2017年4月～6月見通し				
	回答社数	構成			運賃動向指数	回答社数	構成			運賃動向指数	回答社数	構成			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	75	16	84	0	16	70	13	87	0	13	70	17	83	0	17
繊維・衣服	27	7	93	0	7	26	8	92	0	8	25	16	84	0	16
木材・家具	24	0	100	0	0	24	0	100	0	0	24	8	92	0	8
パルプ・紙	26	4	92	4	0	25	0	100	0	0	25	16	84	0	16
化学・プラスチック	95	6	92	2	4	86	4	95	1	3	86	8	91	1	7
窯業・土石	25	4	92	4	0	24	4	96	0	4	24	8	92	0	8
鉄鋼・非鉄	70	3	91	6	△3	70	3	93	4	△1	70	9	88	3	6
金属製品	37	11	89	0	11	33	3	97	0	3	33	3	97	0	3
一般機械	65	5	94	1	4	63	2	98	0	2	63	6	94	0	6
電気機械	85	2	97	1	1	81	4	96	0	4	81	6	94	0	6
輸送用機械	70	3	93	4	△1	68	4	94	2	2	68	12	84	4	8
精密機械	20	0	95	5	△5	19	0	95	5	△5	19	0	95	5	△5
その他	45	7	93	0	7	41	7	93	0	7	40	10	87	3	7
計	664	6	92	2	4	630	4	95	1	3	628	10	89	1	9
卸売業															
生産財	38	11	89	0	11	32	16	84	0	16	31	23	77	0	23
消費財	40	8	92	0	8	39	13	87	0	13	39	15	85	0	15
計	78	9	91	0	9	71	14	86	0	14	70	19	81	0	19
合計	742	6	92	2	4	701	5	94	1	4	698	10	89	1	9

(3) 鉄道コンテナ運賃

■ 2017年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、食料品・飲料、パルプ・紙、消費財卸の3業種がプラス、繊維・衣服など9業種がゼロ水準で、窯業・土石、鉄鋼・非鉄、精密機械の3業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス2で、前期（2016年10～12月）実績から強含み横ばいで推移した。

■ 2017年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、繊維・衣服、化学・プラスチック、輸送用機械がプラスに浮上する一方、その他の製造業がマイナスに沈む以外に大きな動きはみられない。業種全体の『運賃動向指数』はプラス1と弱含み横ばいで推移する見通しであり、運賃水準の上昇圧力はわずかながら弱まるとみられる。

鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2016年10月～12月実績					2017年1月～3月実績					2017年4月～6月見通し				
	回答社数	構成			運賃動向指数	回答社数	構成			運賃動向指数	回答社数	構成			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	50	2	96	2	0	52	6	94	0	6	52	8	92	0	8
繊維・衣服	10	0	100	0	0	11	0	100	0	0	10	10	90	0	10
木材・家具	20	0	100	0	0	15	0	100	0	0	15	0	100	0	0
パルプ・紙	32	9	88	3	6	29	10	90	0	10	29	7	93	0	7
化学・プラスチック	76	1	99	0	1	73	3	94	3	0	73	4	95	1	3
窯業・土石	16	6	88	6	0	13	0	92	8	△8	13	0	92	8	△8
鉄鋼・非鉄	41	0	98	2	△2	40	0	97	3	△3	40	0	97	3	△3
金属製品	21	5	95	0	5	19	0	100	0	0	19	0	100	0	0
一般機械	31	0	97	3	△3	35	0	100	0	0	35	0	100	0	0
電気機械	35	0	100	0	0	31	0	100	0	0	31	0	100	0	0
輸送用機械	33	9	85	6	3	38	3	94	3	0	37	5	92	3	2
精密機械	12	0	92	8	△8	11	0	91	9	△9	11	0	91	9	△9
その他	26	8	92	0	8	26	0	100	0	0	26	0	96	4	△4
計	403	3	95	2	1	393	2	96	2	0	391	3	95	2	1
卸売業															
生産財	15	0	100	0	0	10	0	100	0	0	9	0	100	0	0
消費財	21	10	90	0	10	21	10	90	0	10	21	10	90	0	10
計	36	6	94	0	6	31	6	94	0	6	30	7	93	0	7
合計	439	3	95	2	1	424	3	96	1	2	421	3	95	2	1

(4) 内航コンテナ・RORO運賃

■ 2017年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、パルプ・紙、輸送用機械など7業種がプラス、繊維・衣服など5業種がゼロ水準で、窯業・土石、鉄鋼・非鉄、精密機械の3業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は、前期（2016年10～12月）実績から6ポイント上昇してプラス4となった。

■ 2017年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、一般機械がゼロ水準に下降する一方、窯業・土石がプラスに浮上するなど4業種において上昇が見込まれる。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス6と2ポイント上昇する見通しであり、運賃水準は上昇基調が続くとみられる。

内航コンテナ・RORO運賃の実績と見通し

業 種	2016年10月～12月実績					2017年1月～3月実績					2017年4月～6月見通し				
	回答社数	構 成			運賃動向指数	回答社数	構 成			運賃動向指数	回答社数	構 成			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	32	6	91	3	3	30	3	97	0	3	30	10	90	0	10
繊維・衣服	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0
木材・家具	11	0	91	9	△ 9	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0
パルプ・紙	20	0	80	20	△ 20	20	25	75	0	25	20	25	75	0	25
化学・プラスチック	58	0	98	2	△ 2	53	6	92	2	4	53	8	92	0	8
窯業・土石	11	0	91	9	△ 9	11	0	91	9	△ 9	11	9	82	9	0
鉄鋼・非鉄	26	4	96	0	4	26	0	96	4	△ 4	26	0	96	4	△ 4
金属製品	13	0	100	0	0	14	0	100	0	0	14	0	100	0	0
一般機械	28	7	89	4	3	28	4	96	0	4	28	4	92	4	0
電気機械	32	0	100	0	0	30	3	97	0	3	30	3	97	0	3
輸送用機械	26	4	85	11	△ 7	30	10	90	0	10	29	14	86	0	14
精密機械	10	0	90	10	△ 10	11	0	91	9	△ 9	11	0	91	9	△ 9
その他	20	0	100	0	0	22	5	95	0	5	22	5	95	0	5
計	294	2	94	4	△ 2	291	5	94	1	4	290	7	92	1	6
卸売業															
生産財	8	0	100	0	0	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0
消費財	18	0	100	0	0	14	0	100	0	0	14	0	100	0	0
計	26	0	100	0	0	20	0	100	0	0	20	0	100	0	0
合計	320	2	94	4	△ 2	311	5	94	1	4	310	7	92	1	6

(5) 国内航空運賃

■ 2017年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、食料品・飲料、消費財卸など7業種がプラス、木材・家具など5業種がゼロ水準で、窯業・土石、鉄鋼・非鉄、精密機械の3業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス2で、前期（2016年10～12月）実績から強含み横ばいで推移した。

■ 2017年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、木材・家具および一般機械がプラスに浮上する以外に大きな動きはみられない。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス4と2ポイント上昇する見通しであり、運賃水準の緩やかな上昇基調が続くとみられる。

国内航空運賃の実績と見通し

業種	2016年10月～12月実績					2017年1月～3月実績					2017年4月～6月見通し				
	回答社数	構成			運賃動向指数	回答社数	構成			運賃動向指数	回答社数	構成			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	20	10	90	0	10	22	9	91	0	9	22	9	91	0	9
繊維・衣服	11	0	100	0	0	8	13	87	0	13	8	13	87	0	13
木材・家具	10	0	100	0	0	9	0	100	0	0	9	11	89	0	11
パルプ・紙	3	0	100	0	0	2	50	50	0	50	2	50	50	0	50
化学・プラスチック	43	2	98	0	2	39	3	97	0	3	39	5	95	0	5
窯業・土石	8	0	87	13	△13	10	0	90	10	△10	10	0	90	10	△10
鉄鋼・非鉄	22	0	100	0	0	20	0	95	5	△5	20	0	95	5	△5
金属製品	13	8	92	0	8	14	0	100	0	0	14	0	100	0	0
一般機械	39	3	94	3	0	40	0	100	0	0	40	3	97	0	3
電気機械	60	2	95	3	△1	48	0	100	0	0	48	0	100	0	0
輸送用機械	27	4	96	0	4	24	8	92	0	8	24	8	92	0	8
精密機械	16	0	87	13	△13	16	0	94	6	△6	16	0	94	6	△6
その他	19	5	95	0	5	21	5	95	0	5	21	10	90	0	10
計	291	3	95	2	1	273	3	96	1	2	273	4	95	1	3
生産財	14	0	100	0	0	12	0	100	0	0	11	0	100	0	0
消費財	20	10	90	0	10	16	13	87	0	13	16	13	87	0	13
計	34	6	94	0	6	28	7	93	0	7	27	7	93	0	7
合計	325	3	95	2	1	301	3	96	1	2	300	5	94	1	4

(6) 営業倉庫保管料金

■ 2017年1～3月実績（見込み）の『料金動向指数』は、金属製品、消費財卸など10業種がプラス、化学・プラスチック、鉄鋼・非鉄、輸送用機械の3業種がゼロ水準で、電気機械および精密機械がマイナスとなった。業種全体の『料金動向指数』はプラス3で、前期（2016年10～12月）実績から横ばいで推移した。

■ 2017年4～6月の『料金動向指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄がプラスに浮上するなど6業種において上昇が見込まれる。この結果、業種全体の『料金動向指数』はプラス5と2ポイント上昇する見通しであり、料金水準の上昇基調が続くとみられる。

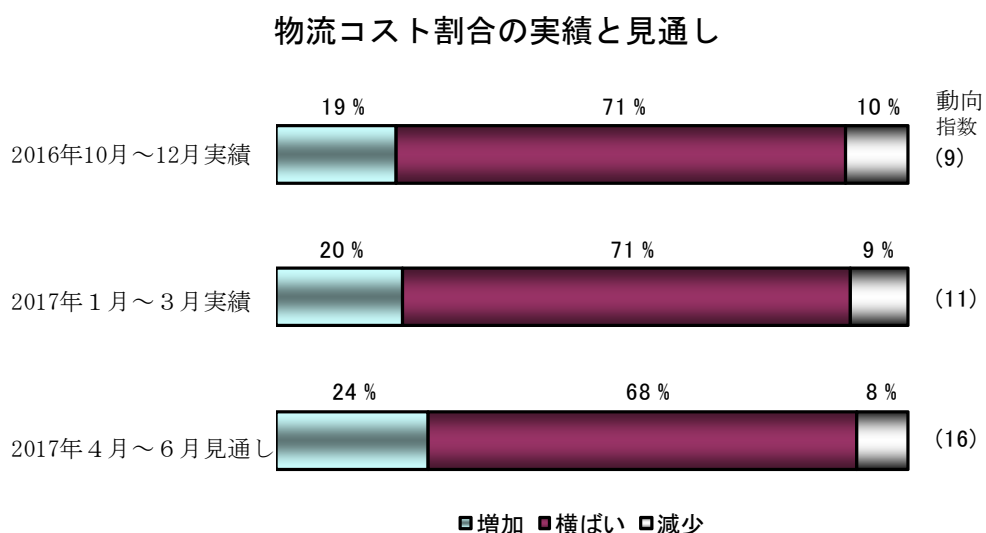
営業倉庫保管料金の実績と見通し

業 種	2016年10月～12月実績					2017年1月～3月実績					2017年4月～6月見通し				
	回答社数	構 成			料金動向指数	回答社数	構 成			料金動向指数	回答社数	構 成			料金動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食 料 品 ・ 飲 料	66	14	86	0	14	68	9	91	0	9	68	16	84	0	16
織 維 ・ 衣 服	13	8	92	0	8	12	8	92	0	8	11	9	91	0	9
木 材 ・ 家 具	20	5	95	0	5	19	5	95	0	5	19	11	89	0	11
パ ル プ ・ 紙	37	11	89	0	11	33	9	91	0	9	33	15	85	0	15
化学・プラスチック	82	5	90	5	0	76	4	92	4	0	76	5	90	5	0
製 窯 業 ・ 土 石	21	5	90	5	0	18	6	94	0	6	18	6	94	0	6
造 鉄 鋼 ・ 非 鉄	57	4	96	0	4	54	2	96	2	0	54	5	93	2	3
業 金 属 製 品	22	5	95	0	5	27	11	89	0	11	27	7	93	0	7
一 般 機 械	55	0	98	2	△ 2	55	4	94	2	2	55	5	95	0	5
電 気 機 械	68	1	98	1	0	65	0	97	3	△ 3	65	0	95	5	△ 5
輸 送 用 機 械	59	3	94	3	0	55	2	96	2	0	55	4	92	4	0
精 密 機 械	17	0	94	6	△ 6	14	0	93	7	△ 7	14	0	86	14	△ 14
そ の 他	34	0	100	0	0	35	3	97	0	3	35	3	97	0	3
計	551	5	93	2	3	531	4	94	2	2	530	7	91	2	5
卸 生 産 財	30	7	93	0	7	25	8	92	0	8	24	4	96	0	4
業 消 費 財	31	13	81	6	7	29	14	86	0	14	29	7	93	0	7
計	61	10	87	3	7	54	11	89	0	11	53	6	94	0	6
合 計	612	5	93	2	3	585	5	93	2	3	583	7	91	2	5

－ 7. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、2017年1～3月実績(見込み)の『動向指数』は、全15業種がプラスとなった。業種全体の『動向指数』はプラス11で、前期(2016年10～12月)実績から2ポイント上昇した。

■ 2017年4～6月の『動向指数』見通しでは、木材・家具がゼロ水準に下降する一方、食料品・飲料、生産財卸など9業種において上昇の動きがみられる。この結果、業種全体の『動向指数』はプラス16と5ポイント上昇する見通しであり、物流コスト割合の上昇圧力は強まる。



物流コスト割合の実績と見通し

業種	2016年10月～12月実績					2017年1月～3月実績					2017年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			動向指数	回答社数	構成比(%)			動向指数	回答社数	構成比(%)			動向指数
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降			上昇	不変	下降	
食料品・飲料	101	31	60	9	22	106	35	58	7	28	106	42	52	6	36
繊維・衣服	33	18	70	12	6	32	19	69	12	7	32	25	66	9	16
木材・家具	40	25	60	15	10	36	17	69	14	3	36	19	62	19	0
パルプ・紙	45	27	60	13	14	46	26	65	9	17	46	30	63	7	23
化学・プラスチック	109	16	75	9	7	103	16	74	10	6	103	22	71	7	15
窯業・土石	36	11	89	0	11	36	19	81	0	19	36	19	81	0	19
鉄鋼・非鉄	98	13	80	7	6	95	15	81	4	11	95	17	79	4	13
金属製品	52	17	77	6	11	47	28	62	10	18	47	23	68	9	14
一般機械	90	19	70	11	8	88	17	73	10	7	88	19	73	8	11
電気機械	112	15	67	18	△3	103	18	69	13	5	103	21	60	19	2
輸送用機械	94	13	74	13	0	93	9	85	6	3	93	15	73	12	3
精密機械	29	14	79	7	7	29	21	76	3	18	29	14	83	3	11
その他	55	15	70	15	0	55	22	65	13	9	55	24	71	5	19
計	894	18	71	11	7	869	20	71	9	11	869	23	68	9	14
卸売業															
生産財	51	23	69	8	15	47	28	64	8	20	47	36	58	6	30
消費財	51	31	63	6	25	50	26	64	10	16	50	28	66	6	22
計	102	27	66	7	20	97	27	64	9	18	97	32	62	6	26
合計	996	19	71	10	9	966	20	71	9	11	966	24	68	8	16